

協働テーマ 企業が事例発表

きょうまで中央区 展示や交流会も

地域防災の取り組みを紹介する担当者

＝浜松市中央区



浜松市市民協働センターは5日、協働をテーマにした交流事業「パートナーシップミーティング」を中央区で開いた。国連が掲げる

持続可能な開発目標（SDGs）に関心を持つ市民団体や企業などが6日まで、事例発表や交流会などを通じて協働について学びを深

める。

「みんなで考えよう地域防災とSDGs」をテーマに、地元企業が事例発表した。総合建設業の常盤工業の社員は、自治会との防災協定や合同防災訓練について紹介し、「地域防災に取り組み、防災力を高めることで地域社会の発展につながる」と語った。

LPガス販売のエネジンの担当者は、小学生向け防災コンテストなど「地域貢献型SDGs」の取り組みについて紹介した。

6日は中央区の同センターでNPOや企業など約40団体がブース展示などを行う。

（浜松総局・小林千菜美）